

選挙3日目 春名候補 山陽路を駆けて渾身の訴え

福山駅前・広島本通りで「比例でも選挙区でも共産党の躍進を」訴え

選挙戦 3 日目、春名なおあき参院比例候補は中国ブロック入りし、山陽 3 県で「出陣式」を行いました。

春名候補は、朝 9 時 30 分から福山駅前、昼休み時間に広島市本通り、午後 3 時から山口県宇部市で街頭から訴え。そして夕方は倉敷市で個人演説会の場で訴えました。

事実上の「春名候補出陣式」になったこれらの集会に参加した参加者は「春名候補の演説を聞いて、あらためてこの選挙の勝利のために頑張る決意をした」と語っていました。

(写真は広島市本通りで訴える春名候補)



宇部市では仁比議員・春名候補、松田候補が熱い訴え



山口県宇部市では春名なおあき候補とともに、応援に山口入りしている仁比聡平参議院議員と松田一志比例候補が勢揃いして街頭から訴えました。(写真)

仁比議員は、安倍内閣の危険な本質を指摘するとともに、安倍内閣の地元から「野党統一候補の勝利を」と訴えました。

そして、春名候補の衆議院時代の国会での憲法論戦を紹介しながら「春名候補を含む 9 人のベストナインを国会へ」と訴えました。

松田候補は、アベノミクスへの地元業者へ

の怒りを紹介し、日本共産党の「三つのチェンジ」を訴えました。

米子の野党合同演説会に1800人・・小池書記局長が訴え

24 日夕方、米子市公会堂前に雨にも関わらず 1800 人が参加して「野党合同演説会」が開催されました。野党の幹部と並んで日本共産党を代表して訴えたのは小池晃書記局長で、「野党共闘は憲法を活かす政治を目指す希望の共闘だ」と訴え、参加者の大きな拍手を受けました。(写真左から二人目が小池書記局長、真ん中が福島浩彦候補)

